

授業改善書

科目名	初等教科教育法(社会)
担当者	吉村日出東

授業の概要

本授業は、小学校において社会科教育を行う上で必要な知識と教育技術の習得を図ることを目的としている。そのためには、学習指導要領に示された社会科の目的と内容を理解することが必要であり、そして、実際に授業を創ることを通して、社会科教材の多様性を理解すると同時に実践力を養うことを目指して行っている。

授業の問題点

本授業の学生評価は比較的高得点であり(全項目の中で最低点が4.69)、特別問題点はないと考えている。学生の出席率も高く(4.86)、学生自身が興味を持って取り組んでいたと考える。

学生の授業満足度

本授業に対する満足度は大変高いもの(4.83、4.79)であり、よく学んでくれたのが分かる。

授業改善の課題と方策

全体として、評価されており、現状問題点はない。

本授業は、子ども発達学科専門科目であると同時に教職課程必修科目でもあるため、免許法の目的と学生の興味が乖離しないことが大切だと考えている。

その他

本授業は、授業回全体の中で、前半が学習指導要領等の社会科の目標や内容についての講義、後半が実際の社会科授業に関する考察と授業体験(模擬授業)で行っているものである。

授業改善書

科目名	特別活動の指導法
担当者	吉村日出東

授業の概要

学習指導要領では、特別活動を、その目標の中に「望ましい集団活動」という表現を用いることによって、集団活動を特質として規定している。これは、児童・生徒に対して、集団の一員としての自覚を深めさせるとともに、社会性をはぐくむことを目指しているからである。こうした理解を深めるために、本授業では、学校における各活動について取り上げるとともに、実践的指導力をつけさせるための課題について考察する。

授業の問題点

本授業に対する学生の評価は高く(4.44、4.56)、授業者の予定していた内容をよく理解してくれていると考える。このことは、現状において講義内容や授業方法などについて全く問題点はないと考えている。

学生の授業満足度

本授業に対する学生の満足度は、高い点数が出ており(4.44、4.56)、評価されていると考える。

特に授業に関する項目のなかで低いもの(4以下)もなく、学生自身の取り組みについて、予習とノート項目でともに3.89の数字があったことくらいである。

授業改善の課題と方策

特別改善点はないと捉えているが、唯一低い点数であった「ノートをとる」項目について、講義形式でないため、低かったのだと捉えている。

その他

特別活動の指導法は、全授業回の前半が講義、後半が実践的取り組み、最後に実地体験とその振り返りで行っているのだが、楽しく学べたようである。